

建設業界の採用サイト保有率90.7% - 働き方改革で注目の最新調査結果

労働環境改善の鍵を握るのは採用を成功に導く採用サイト！？

GP ONLINE 採用サイトコンテンツ調査2024<建設業界編>

Webサイト総合プロデュース事業を運営する株式会社ジーピーオンライン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：豊永 豊）は、建設業界の企業における採用サイトコンテンツ調査を実施し、その結果を発表いたしました。



調査背景

2024年4月1日より、建設業界においても「働き方改革関連法」に基づく時間外労働の上限規制が適用されます。この規制は、長時間労働が常態化している建設業界にとって大きな課題となっています。高齢化や労働人口の減少に伴う人材不足が深刻化しており、労働環境の改善が急務です。国土交通省は、「建設業働き方改革加速化プログラム」を策定するなど、具体的な対策を提示しています。企業はこれらの対策を実行し、効率化と生産性向上を図りながら新規人材を確保するための採用活動をしていかねばなりません。

このような背景のもと、当社は建設業界の採用サイトの現状を調査し、企業がどのように人材確保に向けた情報発信をおこなっているかを明らかにするために本調査を実施しました。具体的には、求職者にとって魅力的な採用サイトの指標として情報提供の質と量を評価しました。

調査結果 サマリー

- 建設業界の企業の90.7%が採用サイトを保有している
- 採用サイトを新卒・キャリア別で用意している企業は20.6%
- 採用サイトのコンテンツ量の平均ページ数は37.5ページ、中央値は32.0ページ
- Core Web Vitalsの合格率はデスクトップで67.7%、モバイルで64.7%
- 最も多く設置されているコンテンツは「研修制度コンテンツ」で、86.8%が情報を掲載している

調査概要

調査概要	建設業界の採用サイトコンテンツ調査
調査期間	2024年7月19日～7月25日
調査対象	東証プライム上場企業1,645社のうち33業種区分「建設業」に属する75社
調査方法	当社Webアナリストによるヒューリスティック調査

本調査は、建設業界に属する主要な企業を代表し、東証プライム上場企業の33業種区分「建設業」に該当する75社の採用サイトを対象に実施しています（ホールディングス企業の場合、中核事業を担っている傘下のグループ企業の採用サイトを調査対象として選出）。調査項目としては主に以下のとおりです。

- ✓ 独立した採用サイトの有無
- ✓ 採用サイトはターゲット別に分かれているか
- ✓ 採用サイトの情報量
 - ページ数はどのくらいあるか

✓ 採用サイトの品質

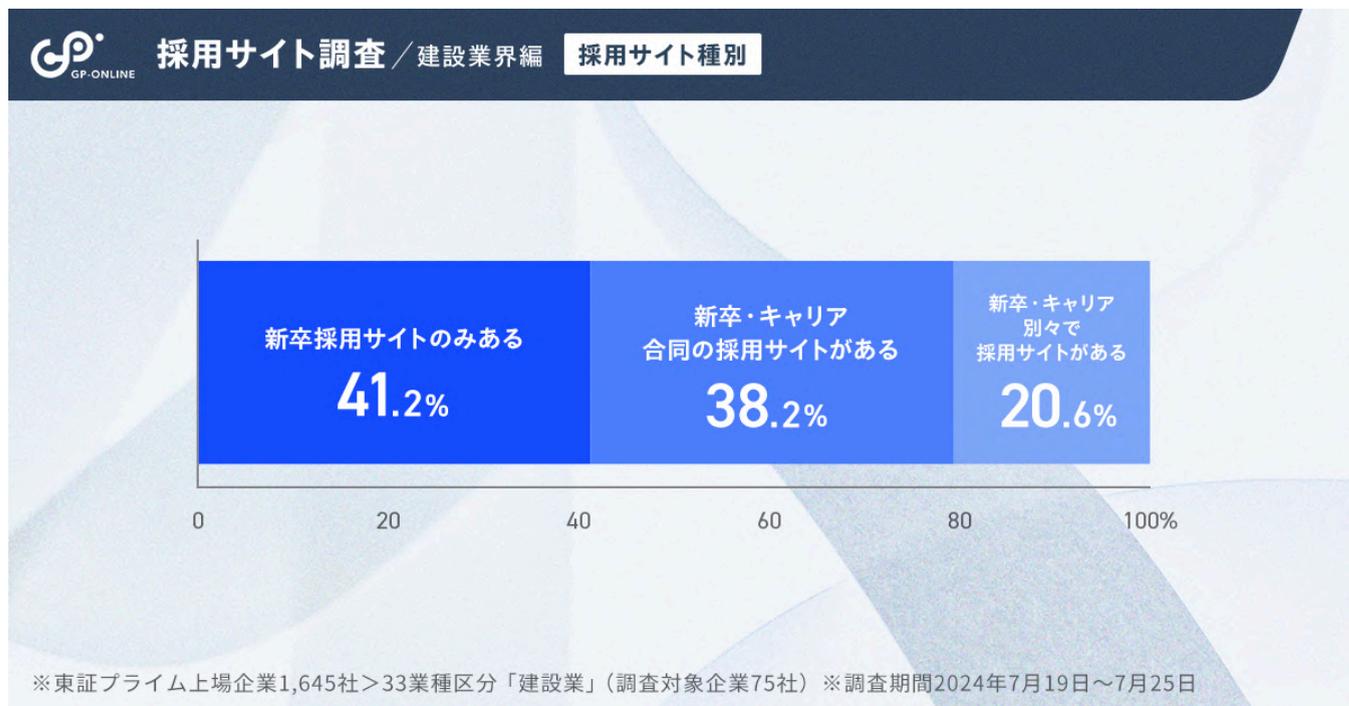
- Core Web Vitals (コア ウェブ バイタル) 指標の評価
※Core Web VitalsとはGoogleが設定しているWebサイトのUX指標

✓ 求職者が求めるコンテンツと企業が発信するコンテンツのギャップ

- 仕事内容がイメージできるコンテンツの有無
- 福利厚生コンテンツの有無
- キャリアパスコンテンツの有無
- 研修制度コンテンツの有無
- 1日のスケジュールがイメージできるコンテンツの有無
- 数字やデータで分かるコンテンツの有無
- 昇給など待遇 (評価制度、モデル年収、給与・手当) 情報についての有無
- 労働環境 (有給消化率、平均残業時間) 情報についての有無

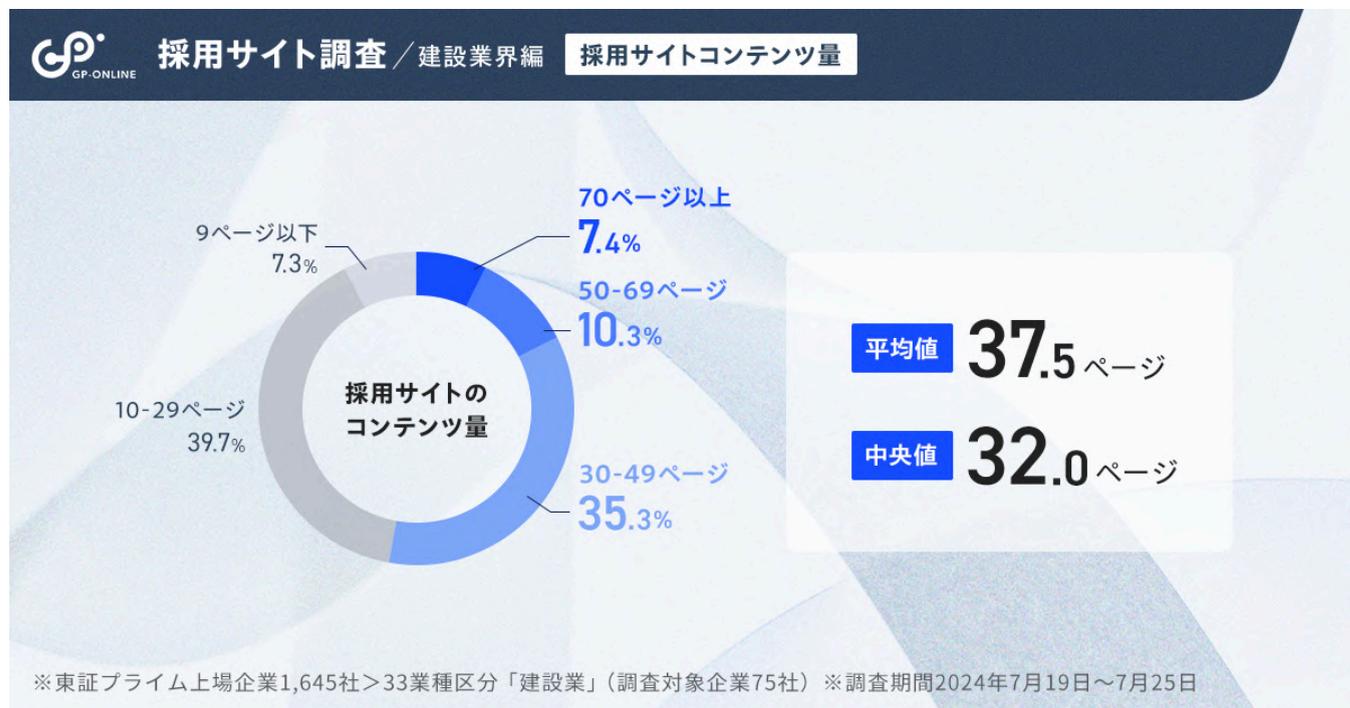
調査結果 詳細

新卒・キャリア別々で採用サイトを保有している企業は20.6%



建設業界の企業の90.7%が採用サイトを保有しているが、そのうち新卒・キャリアそれぞれの採用サイトを保有している企業は20.6%のみ。

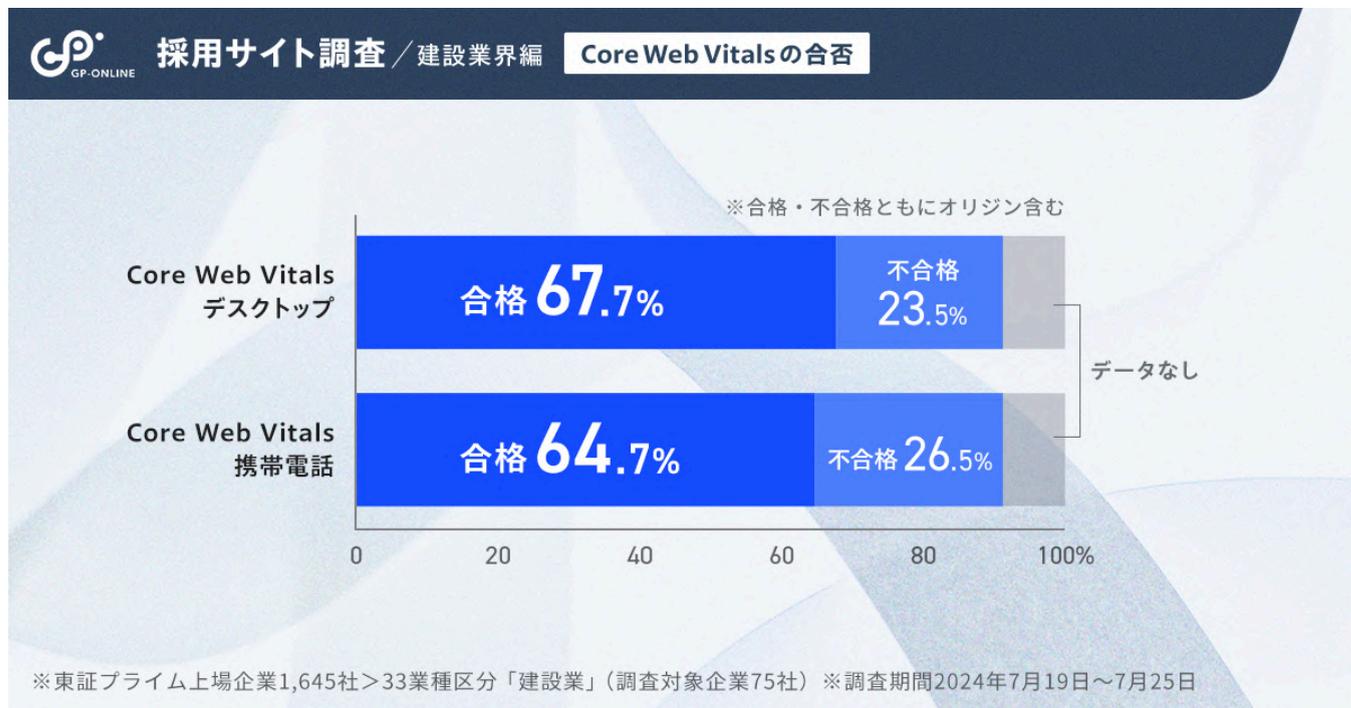
9ページ以下の採用サイトはわずか7.3%、採用サイトの平均ページ数は37.5ページ



採用サイトにおけるコンテンツ量として、ページ数を算出しています。採用サイトを保有している企業の平均ページ数が37.5ページ、中央値で32ページという結果になりました。コンテンツの充実度が求められる昨今において、最低限のコンテンツ量を用意していることがわかります。

具体的には70ページ以上のサイトが7.4%、50～69ページが10.3%、30～49ページが35.3%、10～29ページが39.7%、9ページ以下の採用サイトも7.3%存在しています。30ページ以上のコンテンツ量がある採用サイトが53%と半数を超えています。

採用サイトがある企業のうち約6割がCore Web Vitalsの規準に合格



Core Web Vitals（コア ウェブ バイタル）とはGoogleが発表しているユーザー体験（UX）に関する指標です。

Core Web Vitalsの合否は、PageSpeed Insights (<https://pagespeed.web.dev/>) を用いています。

各社の採用サイトのデータは閲覧ユーザー数により一様ではないことが前提となります。

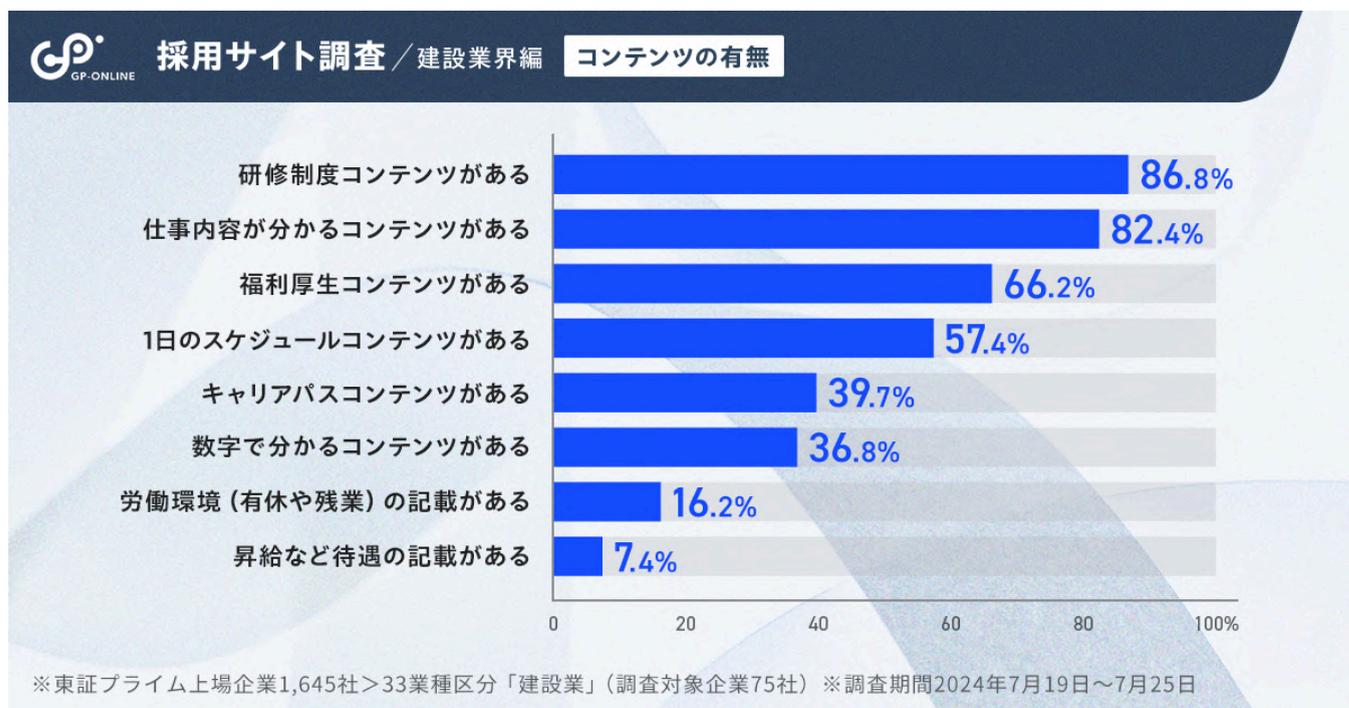
ユーザーデータが豊富な採用サイトは「実際のユーザーの環境で評価する」評価項目を参照しています。

ユーザーデータが不足している場合は、オリジンデータ（コーポレートサイトを含むユーザーデータ）を参照しています。オリジンデータも不足している場合、データなしと分類しています。

デスクトップでの合格率が67.7%、携帯電話での合格率が64.7%、不合格率はデスクトップで23.5%、携帯電話で26.5%という結果になりました。

ユーザー体験の向上に努めている企業が多いことがわかりますが、合格しているサイトの半数以上はオリジンデータ（コーポレートサイトを含むユーザーデータ）を参照していることから、採用サイト単体ではユーザーデータ（アクセス数）が足りていないことが伺えます。

研修制度に関するコンテンツが最も多く、86.8%の企業が採用サイトに掲載



調査項目は求職者が欲しい情報として上位にランキングされるコンテンツと、採用サイトの中でもアクセス数の多い人気コンテンツから設計しています。情報発信が求職者ファーストになっているかをコンテンツ（または情報）の有無から導き出しています。

調査結果は研修制度に関するコンテンツが最も多く、86.8%の企業が掲載、次に仕事内容が分かるコンテンツ（82.4%）、福利厚生コンテンツ（66.2%）と続いています。

1日のスケジュールコンテンツ（57.4%）も半数以上が掲載しており、キャリアパスコンテンツ（47.4%）、数字で分かるコンテンツ（36.8%）も一定数存在。一方で労働環境（有休消化率や平均残業時間など）の記載（16.2%）や昇給などの待遇（評価制度、モデル年収、給与・手当）に関するコンテンツ（または情報）は比較的少なく、7.4%の企業のみが掲載という結果になりました。

まとめ

当社は、東証プライム市場の33業種区分である「建設業」75社の企業が保有する採用サイトコンテンツに関する調査を実施しました。採用サイトの活用状況は企業によってばらつきがあり、多くの企業において、コンテンツの質や求職者への訴求力の点で、改善の余地が見られます。

採用サイトへ求職者に訪れてもらう仕掛けが必要

この調査では、企業の90.7%が採用サイトを保有しており、そのうち新卒・キャリア別で採用サイトを保有している企業は20.6%と判明しました。

サイトの平均ページ数は37.5ページ、約6割を超える企業がCore Web Vitalsの基準に合格しているものの、その半数以上がオリジンデータ（コーポレートサイトを含むユーザーデータ）での合格となっていることから、採用サイト単体ではユーザーデータ（アクセス数）が足りていないといえます。

建設業界は特に母集団形成の難度が高いため、アクセス数が不足しやすいと考えられますが、自社を認知してもらえたタイミングで、いかに採用サイトへ誘導できるかが課題です。採用サイトを強力な採用ツールとなるよう更に情報発信に力を入れたうえで、より多くの求職者に訪れてもらえる仕掛けが必要です。

出しにくい情報こそ発信の工夫を！

今回の調査で労働環境（有休消化率や平均残業時間）、待遇（評価制度、モデル年収、給与・手当）に関する情報が少ないと判明しました。建設業界では働き方改革を推進している最中かと思しますので、改革中の労働環境の公開を控える企業も多いのではないかと推察されます。

そのような状況でも、現状の労働環境の情報公開とこれからどう改善していくかのロードマップを示すことが、求職者のためになるばかりか、この業界における他社との差別化のひとつになり得るのではないのでしょうか。採用難度が高い建築業界だからこそ、自社の強みを活かした差別化を図ることが重要です。

本調査の結果を通じて、企業が求職者に対してより効果的な情報発信をおこない、企業にマッチする人材を獲得するための一助となることを期待しています。

当社は、今後も企業の採用活動を支援し、最適なソリューションを提供してまいります。

株式会社ジーピーオンラインについて

私たちジーピーオンラインは、創業25周年を迎えようとしているWebの企画・制作会社です。「人とデジタルで“ありがとう”をつくる。」というミッションのもと、蓄積してきた独自のノウハウを活かし、Webマーケティングの視点からお客さまの課題を解決します。

会社概要

会社名：株式会社ジーピーオンライン <https://www.gpol.co.jp/>

所在地：東京都新宿区新宿1丁目6-3 新宿御苑 フロント8F

大阪府大阪市北区堂島浜2丁目2-28 堂島アクシスビル3F

代表者：代表取締役 豊永 豊

設立日：2001年5月30日

事業内容：Webサイト総合プロデュース、Webシステム総合プロデュース、Webパッケージ商品のプロデュース、Webマーケティングコンサルティング

本件の問い合わせ先

株式会社ジーピーオンライン マーケティンググループ マーケティングディビジョン 広報担当

TEL：06-6343-9363

営業時間：10:00～19:00（休日：土日祝）

support@gpol.co.jp